

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	岡田和敏	職名	教授	学位	修士(社会学)(佛教大学 1984年)
----	------	----	----	----	---------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学	医療福祉、保健医療福祉制度

研究課題
医療ソーシャルワーク実践における障害者、高齢者、難病患者の諸問題に関する研究

担当授業科目
地域福祉論 (2年前・後期) 医療福祉論 (2年前期) 福祉行財政と福祉計画 (3年前期) 社会福祉特講 (4年後期) 相談援助演習 I (1年後期) 相談援助演習 II (2年前期) 相談援助演習 III (2年後期) 相談援助演習 IV (3年前期) 相談援助演習 V (3年後期) 相談援助実習指導 I (2年前・後期) 相談援助実習指導 II (3年前・後期) 相談援助実習 (3・4年) 専門研究 I 専門研究 II

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 地域福祉論 】 社会福祉の動向において「自立支援」「連携」「地域福祉」などが強く求められている時代であることを強調し、地域で暮らす人々の生活をいかに支援していくかについて講義した。また、新聞記事などの活用を図り、内容が理解できるように解説した。
授業科目名【 医療福祉論 】 身近な問題であるが、国家試験での正答率が低い。その為、基礎的な理解ができ、医療が身近な問題で誰しにも共通するものであることを説明し、医療保険制度の仕組み、年金制度、社会福祉との関係性についてと医療機関における専門職としての社会福祉士の役割について講義した。

<p>授業科目名【福祉行財政と福祉計画】</p> <p>社会保障制度を構築するうえで、必要になるのが財源である。福祉行財政の実際と実施体制について解説し、福祉行政の骨格や法制度、社会福祉の基礎構造改革、支援体制の実際を取り上げて解説した。</p> <p>また、各種福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について説明し、計画策定の実際を解説した。</p>
<p>授業科目名【社会福祉特講 II】</p> <p>最新動向を理解できる</p> <p>社会福祉の領域、特に福祉行財政と福祉計画における制度・政策の最新動向について複数の講師とともにオムニバス方式で講義を行った。『福祉行財政と福祉計画の動向』『保健医療施策の動向』『地域福祉論』を担当し講義した。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習 I】</p> <p>社会福祉士に求められる、自己覚知、コミュニケーション技術、個人・家族・集団・地域社会などへの支援を行う際に必要な基本的な面接技術についてロールプレイ、グループワーク、グループ討議などを交え、体験的に学ばせた。また、現在生じている福祉的課題・問題についてグループで調べさせ発表させた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習 II】</p> <p>ソーシャルワークに関するテキストの事例をもとに、ソーシャルワークの展開過程について学び、ソーシャルワーカーが持たなければならない視点や援助の実際について考えさせる形で学ばせた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習 III・IV】</p> <p>問題の実情、社会的把握、援助の過程、アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発など相談援助の方法、技術について、医療ソーシャルワークの事例を用い、何を考え、調べ、援助をどのように展開して行くかについて学生の考えを聞きながら解説した。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習 V】</p> <p>地域福祉の問題の実情、社会的背景、援助のプロセス、地域住民へのアウトリーチ・ニーズ把握、地域福祉計画、サービス評価についてを地域福祉の基盤と開発に係る実践事例をもとに学ばせた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導 I】</p> <p>医療領域を担当。他の領域と指導内容は同じであるが、特殊性と専門性をもつ医療領域において、ソーシャルワークを如何に展開していくかイメージ出来るよう資料やビデオを活用し講義した。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導 II】</p> <p>他の社会福祉領域と実習する上では特別ではないが、医療機関の特殊性から、現場実習であってもより実践場面で活動が出来るよう、興味、疑問、不安などに対して個別に指導した。配属実習については一人ひとりの特性に応じ配属に繋げた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習】</p> <p>学生の希望を聞くとともに適正に配慮しながら配属先を決めた。また、各医療機関のソーシャルワーカーとの調整を行い、実習生の個別的な指導を行った。</p>
<p>授業科目名【社会福祉特講 II】</p> <p>本講義は、6名の教員によるオムニバス方式で、「保健医療施策の動向」を2コマ担当した。保健医療機関に社会福祉士国家資格を持つ医療ソーシャルワーカーがいる意味と実践活動する際に必要となる知識の習得を目指した講義を行った。</p>

授業科目名【 専門研究 I 】

病気やケガを中心に据え、各自が考え、気づき、そして、人々の生活課題から研究してみたくなつたことを見つげられるよう指導した。

授業科目名【 専門研究 I 】

専門研究 I から各自が気づき研究していくテーマについて個別に指導している。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉学会	外部理事 (2010年4月～2019年3月4日総会まで)	1990年10月～現在に至る
福岡県医療ソーシャルワーカー協会		1985年4月～現在に至る
佐賀県医療ソーシャルワーカー協会		1998年6月～現在に至る
日本医療社会福祉協会		1998年4月～現在に至る
福岡県社会福祉士会		2010年4月～現在に至る
日本キリスト教社会福祉学会		2001年4月～現在に至る

2 0 1 8 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				

2018年度 研究業績等に関する事項

著書、学术论文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表) (その他) 地域活動について	単	5/15 9/14 11/8 2/20	北九州市立年長者研修 修大大学校「穴生学舎」	研修講師
介護職員初任者研修	単	5/17 5/21 5/24 5/28 5/31 6/4 6/11 7/16 9/11		
				教育研究業績 総数 (2017. 3. 31 現在) 著書 0 (内訳 単 共) 学术论文 0 (内訳 単 共) 翻訳 0 (内訳 単 共) 学会発表 0 (内訳 単 共) その他 13 (内訳 単 13 共)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考

--	--	--	--

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州市民生委員推薦委員会	委員	2017年4月1日～2020年3月31日
北九州市福祉有償運送運営協議会	会長	2005年8月～現在に至る
北九州市小倉南区社会福祉協議会評議員	評議員	2017年4月1日～2020年3月31日
北九州市民カレッジ企画運営委員会	運営委員	2017年12月1日～2019年11月30日
北九州市社会福祉協議会ふれあいネットワーク第三者委員会	委員	2019年5月～2020年3月31日
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会	理事長	2013年5月～現在に至る
社会福祉法人 北九州精神保健福祉事業協会評議委員会	評議員	2017年4月1日～2021年3月31日
社会福祉法人孝徳会苦情解決委員会 入所判定委員会	第三者委員長 委員長	2003年4月～現在に至る 2003年4月～現在に至る
社会福祉法人 敬寿会	理事	2019年6月～2021年6月
特定非営利法人 生活支援館「パートナー」	理事	2002年3月～現在に至る
社会福祉法人 療養介護事業所「ひなた家」	理事	2019年6月15日～2021年6月14日

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
① 就職委員会委員 副委員長
③ 学生支援においては、これまで通り介護職員初任者研修（ホームヘルパー2級）の資格を取得出来るよう外部事業所との調整と講義の担当を行っている。

※ 2016年度様式から、学部長による評価・改善記入（助手については、学科長による評価・改善記入）は行われません。